

SHARP®

ディスプレイ管理ユーティリティソフトウェア

Display Manager

Version 1.0

For Windows®

取扱説明書

ご購入いただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

基本操作

調整と制御

困ったときは

付録

Display Managerについて

シャープディスプレイ管理ユーティリティソフトウェアDisplay Manager(以下、「本ソフトウェア」と呼びます)は、LAN(Local Area Network)に接続されたシャープ製ディスプレイデバイス*の制御や状態の確認、設定の変更ができます。また任意のデバイスに対して、電源をオン/オフする、入力を切り換えるなどの簡単な操作を行うことができます。

*本書ではディスプレイデバイスを「デバイス」と記載しています。本ソフトウェアで管理できるデバイスについては、[26ページ](#)をご覧ください。

必要なハードウェア・ソフトウェア

本ソフトウェアを使うためには、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

Microsoft Windows® XP Home Edition、XP ProfessionalおよびWindows Vista®(いずれも日本語版および英語版)の動作するパソコン。

HDD空き容量 5 MB以上

インターフェース Ethernet LANポート

- この取扱説明書はWindows®とマウスの使いかたを理解している読者を対象に書かれています。Windows®についての不明な点は、Microsoft社の各OSの取扱説明書をご参照ください。また、本ソフトウェアの仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本文表示画面は、Windows Vista®を例にして作成しています。お使いのWindows OSのバージョンによって、手順や表示が若干異なる場合があります。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Adobe®、Adobe® Reader®、Acrobat®、Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- パソコンの動作環境や処理能力によっては、動作が遅くなる場合があります。

【注意】

- ・ 自作機やマザーボードの変更などの改造を加えているパソコンに関しては、動作保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本ソフトウェアを使用する際は、パソコンがスリープ状態またはスタンバイ状態もしくは休止状態に入らないように、パソコンを設定してください。

目次

はじめに

Display Managerについて	2
必要なハードウェア・ソフトウェア	2
目次	3
Display Managerをインストールする	4
インストールする	4
アンインストールする	5

基本操作

起動する・終了する	6
Display Managerを起動する・終了する	6
メイン画面	6
デバイスを登録する	7
手動で登録する	7
削除する	7
デバイスの状態を確認する	8
デバイスを制御する	9
コントローラウィンドウを開く	9
電源を入れる	11
スタンバイ状態にする	11
入力を切り換える	11
AVミュートをオン/オフする	11
ブラックスクリーンをオン/オフする	11
シャッターを閉/開にする	11
消音をオン/オフする	11
ブラウザを介してデバイスを操作する	12

調整と制御

メールを設定する	12
メールを設定する	12
設定の内容	12
アラートを設定する	14
グループ化する	15
グループを新しく作る	15
グループを編集する	16
グループを削除する	16
デバイス情報一覧をカスタマイズする	16
表示項目を選択する	16
表示項目の順番を入れ替える	17
デバイス情報をソートする	18
ユーザー名・パスワードを登録する	18
最新情報に更新する	19
LAN上のデバイスを検索する	19
その他の便利な設定	19
自動検索を設定する	19
デバイス情報一覧の自動更新を設定する	20
デバイスを操作するためのブラウザを設定する	21
電源オン設定をする	21
機能一覧	22
右クリックメニュー一覧	22
メニュー一覧	23

困ったときは

こんなときは	24
エラーメッセージ	26

付録

対応デバイス	26
索引	27
各デバイスの入力一覧	28

画面表示やイラストは、説明のため簡略化しておりますので、実際とは多少異なる場合があります。

Display Managerをインストールする

本ソフトウェアをインストールするにあたり、事前にWebサイトに記載された操作手順や注意事項を参考に、ダウンロードを行ってください。

インストールする

1 インストールするパソコンが本ソフトウェアに対応していることを確認します。
詳しくは「必要なハードウェア・ソフトウェア」(2ページ)をご覧ください。

2 パソコンの電源を「入」にします。

メモ

管理者の権限を持ったログイン名でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了します。

4 ダウンロードしたインストーラをダブルクリックします。
しばらくすると、「設定言語の選択」ダイアログが表示されます。

5 「日本語」を選んで「OK」ボタンをクリックします。
「InstallShieldウィザード」画面が表示されます。

6 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。

メモ

インストール先は必要な場合のみ変更してください(通常は変更する必要はありません)。

7 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
「プログラムフォルダの選択」ダイアログが表示されます。

メモ

プログラムフォルダは必要な場合のみ変更してください(通常は変更する必要はありません)。

8 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「InstallShieldウィザードの完了」ダイアログが表示されます。

9 「完了」ボタンをクリックします。
本ソフトウェアのインストールが完了しました。

アンインストールする

注意

本ソフトウェアが起動している場合は、アンインストールの前に必ず終了してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選択します。
- 2 「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。
- 3 「Sharp Display Manager」を選択し、「アンインストール」または「変更と削除」ボタンをクリックします。
「設定言語の選択」ダイアログが表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
アンインストールが始まります。
アンインストールが完了すると、「メンテナンスの完了」ダイアログが表示されます。
- 6 「完了」ボタンをクリックします。
本ソフトウェアのアンインストールが完了しました。

起動する・終了する

本ソフトウェアを起動する前に、パソコンとデバイスの接続を済ませておいてください。詳しい接続方法については、デバイスの取扱説明書をご覧ください。

Display Managerを起動する・終了する

起動する

- 1 パソコンを起動します。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」-「Sharp Display Manager」-「Sharp Display Manager」の順に選択します。
本ソフトウェアが起動し、メイン画面が表示されます。

【注意】

- ・ デバイス側でユーザー名、パスワードを設定している場合は、ネットワークを接続する際にユーザー名、パスワードを入力する必要があります。ダイアログボックスにユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・ デバイスの検索を行うとセキュリティの警告画面が出る場合があります。この場合は、[25ページ](#)をご覧ください。

終了するとき

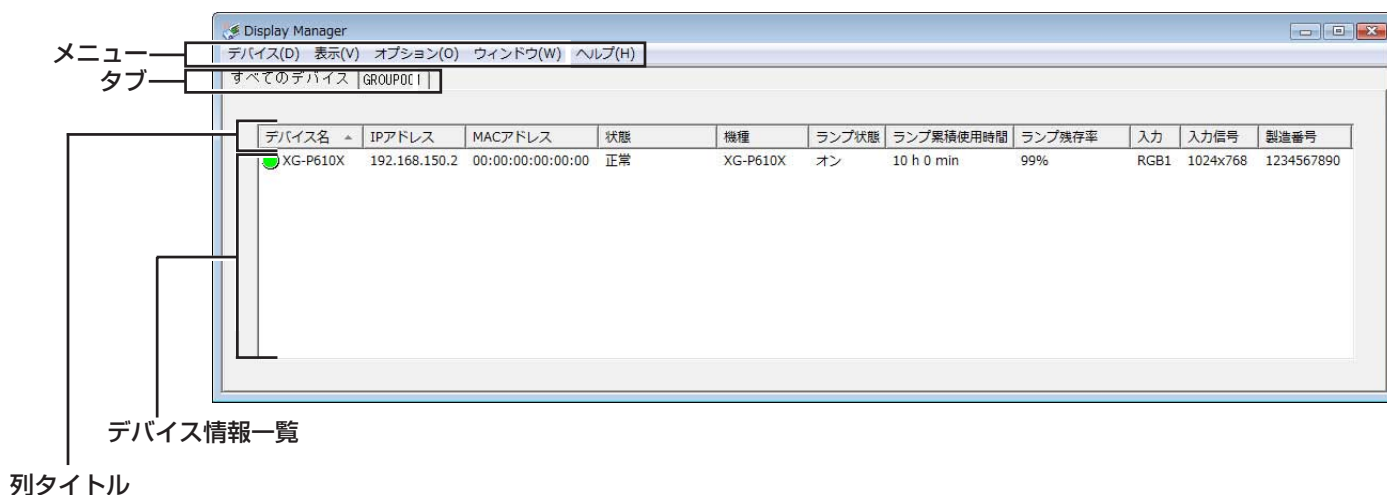
- 1 「デバイス(D)」メニューから「終了(X)」を選択します。
本ソフトウェアが終了します。

メモ

画面右上の「×」ボタンをクリックしても終了できます。

メイン画面

本ソフトウェアが起動すると、メイン画面が表示されます。主な操作はこの画面から行います。



メニュー(23ページ)

本ソフトウェアの基本操作、メイン画面の編集等を行います。

デバイス(D)、表示(V)、オプション(O)、ウィンドウ(W)、ヘルプ(H)

タブ

デバイス情報一覧を、「すべてのデバイス」、または任意に作成したグループ単位に切り替えます。

すべてのデバイス(7ページ)、任意のグループ(15ページ)

列タイトル(17ページ)

デバイス情報一覧に表示される項目のタイトルです。

デバイス情報一覧(8ページ)

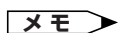
自動または手動でシャープ製デバイスの情報を取得し表示します。

*デバイス名、IPアドレス、MACアドレス、状態、機種、ランプ状態、ランプ累積使用時間、ランプ残存率、入力、入力信号、製造番号

※デバイス情報一覧に表示させる項目(列タイトル)は、「デバイス情報一覧をカスタマイズする」(16ページ)で変更することができます。

デバイスを登録する

手動でIPアドレスを入力して、デバイス情報を取得し情報一覧に追加します。新しく取得されたデバイス情報は、「すべてのデバイス」に表示されます。



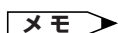
自動検索(19ページ)・自動更新(20ページ)を指定しておく、設定したタイミングごとに、LAN上のシャープ製デバイスを自動で検索し情報を表示します。

手動で登録する

- 1 「デバイス(D)」メニューから「追加(A)」を選択します。
「追加」ダイアログが表示されます。



- 2 デバイスのIPアドレスを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
 - ・追加されたデバイス情報が、「すべてのデバイス」に表示されます。
 - ・しばらくすると、最新のデバイス情報がデバイス情報一覧に自動的に表示されます。



デバイス情報一覧上で右クリックし、ポップアップメニューから「追加(A)」を選択しても「追加」ダイアログを表示することができます。

削除する

登録済みのデバイス情報を情報一覧から削除できます。削除は「すべてのデバイス」を表示させた状態で行います。

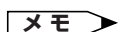


削除できるのは、「状態」が「通信エラー」または「接続エラー」になっているデバイス情報のみです。



- ・「すべてのデバイス」以外のグループが表示されているときに、デバイス情報を削除することはできません。グループからデバイス情報を削除する場合は、「グループ設定」で行います(グループを編集する→16ページ)。
- ・「すべてのデバイス」から削除したデバイス情報は、全てのグループから削除されます。

- 1 「すべてのデバイス」から削除したいデバイス情報を選択します。
- 2 「デバイス(D)」メニューから「削除(D)」を選択します。
「確認」ダイアログが表示されます。
- 3 「はい(Y)」ボタンをクリックします。
選択したデバイス情報が削除されます。



- ・デバイス情報をクリックし、「Delete」キーを押しても削除することができます。
- ・デバイス情報を右クリックし、ポップアップメニューから「削除(D)」を選択しても削除することができます。

デバイスの状態を確認する

デバイス情報一覧からデバイスの状態を確認することができます。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
デバイス名	IPアドレス	MACアドレス	状態	機種	ランプ状態	ランプ累積使用時間	ランプ残存率	入力	入力信号	製造番号	
XG-P610X	192.168.150.2	00:00:00:00:00:00	正常	XG-P610X	オン	10 h 0 min	99%	RGB1	1024x768	1234567890	

① 状態アイコン

デバイスの状態を表示します。

- (緑色) : 正常に電源オンしました
- (赤色) : スタンバイ状態です
- (灰色) : 通信中です
- ▲ : エラーが発生しました
- × : 接続エラーが発生しました

② デバイス名、③ IPアドレス、④ MACアドレス、⑥ 機種

デバイス名、IPアドレス、MACアドレス、機種名を取得して表示します。

メモ

- ・デバイスがプロジェクターの場合は、「デバイス名」にはプロジェクター名を表示します。
- ・デバイスがモニターの場合は、「デバイス名」にはモニター名を表示します。
- ・デバイスが見つからない場合は、MACアドレスが表示できません。

⑤ 状態

デバイスの詳細な状態を表示します。

- 正常 : デバイスは正常です
- 温度エラー : デバイス内部が高温になっています
- 冷却ファンエラー : 冷却ファンが壊れています
- フィルターカバーエラー : フィルターカバー、エアフィルター、レンズカバーが正しく取り付けられていません
- ランプエラー : ランプ/バックライトが切れている、もしくは故障しています
- 通信エラー : デバイスから応答がありません
- 接続エラー : デバイスに接続できません

メモ

- ・「アラート設定」で選択したエラーが発生したときには、エラーアラートが表示されます(アラート設定→14ページ)。
- ・「エラー通知」で設定したエラーが発生したときには、任意のアドレスに通知メールが送られます(エラー通知→13ページ)。
- ・エラーが発生した場合の原因と解決法については、24ページをご覧ください。

⑦ ランプ状態

プロジェクターのランプの状態を表示します。

- オン : ランプが点灯中です
- オフ : ランプが消灯中です
- 点灯指示中 : ランプの点灯指示状態です
- 点灯確認中 : プロジェクターが起動中、または冷却中です

⑧ ランプ累積使用時間、⑨ ランプ残存率

プロジェクターのランプ累積使用時間とランプ残存率を取得して表示します。

メモ

取得できない場合は、「----」と表示されます。

⑩ 入力

使用中の入力端子を表示します。

⑪ 入力信号

- ・ビデオ信号入力時は「NTSC」「PAL」「SECAM」のうちどれかを表示します。
- ・非ビデオ信号入力時は解像度を表示します。

⑫ 製造番号

デバイスの製造番号を取得して表示します。

メモ

- ・取得できない場合は、「----」と表示されます。
- ・デバイスによっては、製造番号を取得できないものがあります。

デバイスを制御する

デバイス情報一覧から選択した一台のデバイス、もしくはグループ全体のデバイスをパソコン上のコントローラウィンドウから制御できます。

制御できるデバイス
またはグループ



コントローラウィンドウを開く

個々のデバイスを制御する

1 次のいずれかの方法で、コントローラウィンドウを開くことができます。

- デバイス情報一覧からデバイス情報を選択し、「ウィンドウ(W)」メニューから「コントローラ(C)」を選択する。

選択されたデバイス情報は、反転して表示されます。



- デバイス情報一覧からデバイス情報を選択し、「Enter」キーを押す。

選択されたデバイス情報は、反転して表示されます。



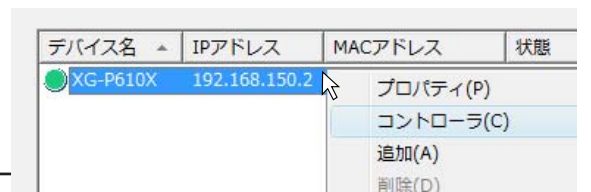
- デバイス情報一覧のデバイス情報をダブルクリックする。

ダブルクリック



- デバイス情報一覧のデバイス情報を右クリックし、ポップアップメニューから「コントローラ(C)」を選択する。

右クリック



グループを制御する

1 次のいずれかの方法で、コントローラウィンドウを開くことができます。

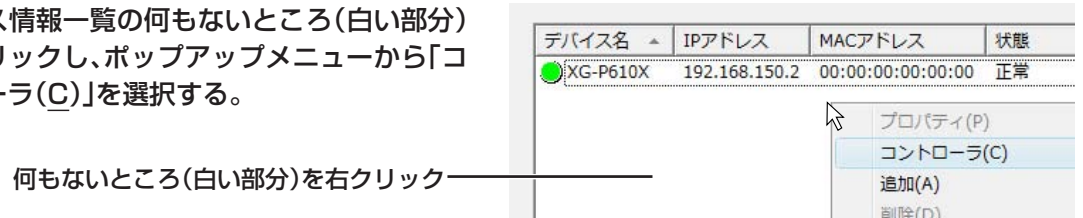
- タブを選択し、「ウィンドウ(W)」メニューから「コントローラ(C)」を選択する。



- タブをダブルクリックする。



- デバイス情報一覧の何も無いところ(白い部分)を右クリックし、ポップアップメニューから「コントローラ(C)」を選択する。



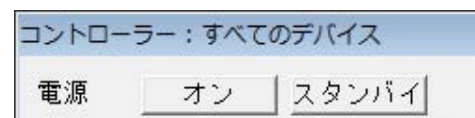
制御対象を切り替える

コントローラウィンドウを表示しているとき、制御対象を切り替えることができます。

1 コントローラウィンドウを表示しているとき、制御したいグループのタブやデバイス情報をダブルクリックします。

コントローラウィンドウが切り替わります。

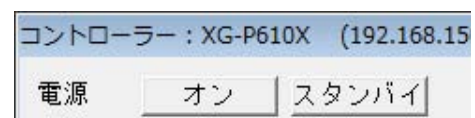
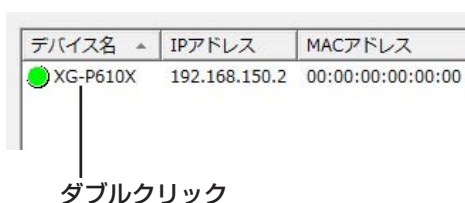
すべてのデバイスを制御するとき



任意のグループを制御するとき



任意のデバイスを制御するとき



電源を入れる

- 1 コントローラウィンドウから、「電源」の「オン」ボタンをクリックします。
デバイスの電源が入ります。

スタンバイ状態にする

- 1 コントローラウィンドウから、「電源」の「スタンバイ」ボタンをクリックします。
デバイスがスタンバイ状態になります。

入力を切り換える

「RGB1～6」「ビデオ1～6」のうちから選択した入力に切り換えることができます。

メモ

切り換えられる入力は、デバイスにより異なります。詳しくは[28ページ](#)をご覧ください。

- 1 コントローラウィンドウの「入力」から切り換えたいボタンをクリックして入力を切り換えます。
選択した入力に切り換わります。

AVミュートをオン/オフする

AVミュート機能のオン/オフを切り換えることができます。

- 1 コントローラウィンドウから、「AVミュート」の「オン」ボタン、または「オフ」ボタンをクリックします。

ブラックスクリーンをオン/オフする

ブラックスクリーン機能のオン/オフを切り換えることができます。

- 1 コントローラウィンドウから、「ブラックスクリーン」の「オン」ボタン、または「オフ」ボタンをクリックします。

シャッターを閉/開にする

シャッターの閉/開を切り換えることができます。

- 1 コントローラウィンドウから、「シャッター」の「閉」ボタン、または「開」ボタンをクリックします。

消音をオン/オフする

音声のオン/オフを切り換えることができます。

- 1 コントローラウィンドウから、「消音」の「オン」ボタン、または「オフ」ボタンをクリックします。

「AVミュート」、「ブラックスクリーン」、「消音」について

AVミュート : 一時的に映像を黒にし、同時に音声を消します

消音 : 一時的に音声を消します

ブラックスクリーン : 一時的に映像を黒にします

- AVミュート機能を持たないデバイスで、「AVミュート」を「オン」にした場合、「ブラックスクリーン」と「消音」が同時に「オン」になります。
- AVミュート機能を持つデバイスで、「ブラックスクリーン」を「オン」にした場合、「AVミュート」が「オン」になります。
- AVミュート機能を持つデバイスで、「消音」を「オン」にしてもデバイスの状態は変わりません。

※ 操作するデバイスにAVミュート機能、または消音機能があるかどうかは、デバイスの取扱説明書をご覧ください。

ブラウザを介してデバイスを操作する

Webブラウザを利用して、ネットワーク経由でデバイスを制御できます。

注意

- Webブラウザを利用して操作できるデバイスを選択した場合のみ利用できます。
- 「すべてのデバイス」またはグループ単位でブラウザを利用して操作することはできません。
- 「使用するブラウザ」であらかじめ設定したブラウザが起動します(使用するブラウザ→21ページ)。
- ブラウザがアクセスするURLは、デバイスのIPアドレスです。

- 1 コントローラウィンドウから、「ブラウザ」ボタンをクリックします。
ブラウザが起動し、指定したデバイスのIPアドレスにアクセスします。

メールを設定する

パソコン側でEメールを送ることができるように設定してあれば、エラー発生時に指定のアドレスに自動的にメッセージメールを送信することができます。エラー発生以外にも、デバイスの状態を定期的送信することができます。

メモ

この機能を使用するときは、パソコン側であらかじめEメール送信ができるように設定(LAN接続など)してください。

メールを設定する

- 1 「オプション(O)」メニューから「メール設定(M)」を選択します。
「メール設定」ダイアログが表示されます。
- 2 タブをクリックし、画面を切り替えて、各設定を行います。
設定の詳細については、「設定の内容」をご覧ください。
- 3 設定が完了したら、「適用(A)」ボタンをクリックします。
メール設定が動作中の本ソフトウェアに適用されます。
- 4 メール設定を終了するときは「OK」ボタンをクリックします。

設定の内容

発信元

発信元	通知先	エラー通知	定期通知
SMTPサーバー:	000.000.000.000		
発信元メールアドレス:	XXX@XXX.co.jp		
発信者名:	シャープ 一郎		
発信者情報:	営業部ネットワークシステム管理者 (内線000)		

メールの発信元に関する情報を設定します。

- SMTPサーバー : SMTPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを入力します
- 発信元メールアドレス : メール発信元(FROM)のメールアドレスを入力します
- 発信者名 : メール発信元(FROM)の発信者名を入力します
- 発信者情報 : メール本文に追加される参考情報を入力します

注意

POP before SMTPについては対応していません。

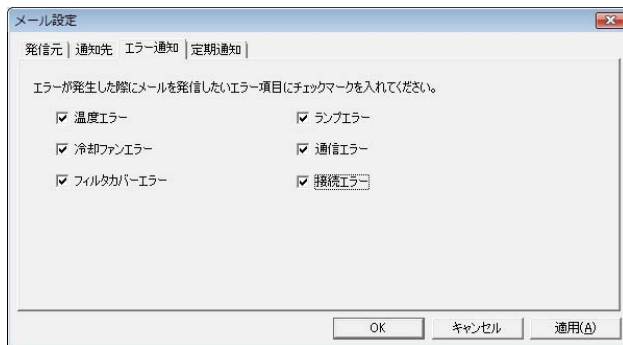
通知先

通知先は5ヶ所まで設定できます。



- ・ 通知先アドレス : メール送り先(TO)のメールアドレスを入力します
- ・ エラー通知 : チェックを入れておくと、「エラー通知」で指定したエラー項目が発生したとき、自動的にメールが送られます(エラー通知→13ページ)
- ・ 定期通知 : チェックを入れておくと、「定期通知」で設定したタイミングで、自動的にデバイスの状態がメール送信されます(定期通知→14ページ)
- ・ 「今すぐ送信」ボタン : クリックすると、直ちにデバイスの状態がメール送信されます

エラー通知



ここでチェックを入れたエラーが発生すると、「通知先」で指定したアドレスに通知メールが送信されます(通知先→13ページ)。

- ・ 温度エラー : デバイス内部の温度が正常ではありません
- ・ 冷却ファンエラー : 冷却ファンが壊れています
- ・ フィルタカバーエラー : フィルターカバー、エアーフィルター、レンズカバーが正しく取り付けられていません
- ・ ランプエラー : ランプ/バックライトが切れている、もしくは故障しています
- ・ 通信エラー : デバイスから応答がありません
- ・ 接続エラー : デバイスに接続できません

注意

- ・ 一度エラー通知メールを送信した後にデバイス情報を更新したとき、同じデバイスに同じエラーが発生していても、エラー通知メールは再送信されません。
- ・ エラーが発生していたデバイスが正常な状態に戻った後や、Display Managerを再起動した後に同じエラーが発生した場合は、エラー通知メールが送信されます。

定期通知



- 通知メールを送信するタイミングを設定します。
- 「曜日指定」「毎週」「毎月」はどれか1つを選んで設定することができます。
 - ・ 次回メール発信日時：設定された条件に基づいて、次回のメール送信日時を表示します
 - ・ 曜日指定：チェックを入れた曜日にメールが送信されます(複数指定可能です)
 - ・ 毎週：プルダウンメニューで選択した曜日にメールが送信されます(1日/週)
 - ・ 毎月：プルダウンメニューで選択した日にメールが送信されます(1日/月)
 - ・ 時刻：プルダウンメニューで選択した時刻にメールが送信されます

【ご注意】

- 「毎月」で設定した日より月末が短い場合は、メールは月末の日に送信されます。
例) 「31」日に設定している場合
28日が月末の場合は、28日に送信されます。

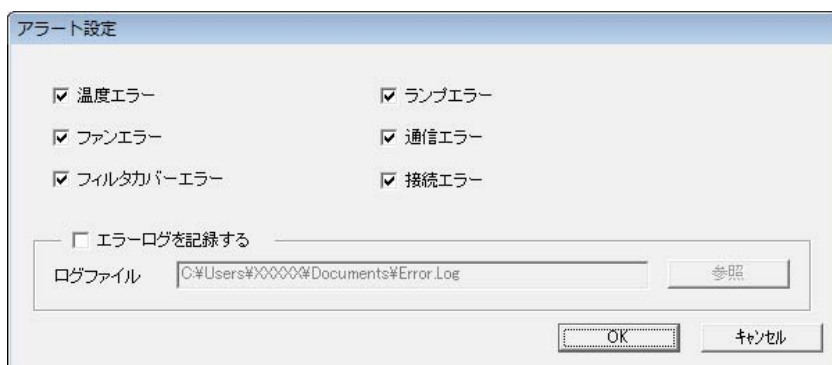
アラートを設定する

指定したエラーが発生した場合に、画面にアラートダイアログを表示し、エラーログを保存することができます。

メモ

アラートの内容とエラー回復については、「エラーメッセージ」(26ページ)をご覧ください。

- 1 「オプション(O)」メニューから「アラート設定(A)」を選択します。
「アラート設定」ダイアログが表示されます。



- 2 アラートダイアログを表示したいエラー項目にチェックを付けます。
エラー項目の内容は、8ページをご覧ください。
- 3 エラーログを保存するときは、「エラーログを記録する」チェックボックスにチェックを入れ、「ログファイル」に保存先の場所を入力します。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

【ご注意】

- ・ 一度エラーアラートを表示した後にデバイス情報を更新したとき、同じデバイスに同じエラーが発生していても、エラーアラートは再表示されません。
- ・ エラーが発生していたデバイスが正常な状態に戻った後や、Display Managerを再起動した後に同じエラーが発生した場合は、エラーアラートが表示されます。

グループ化する

本ソフトウェアで取得されたデバイス情報は、全てメイン画面の「すべてのデバイス」に表示されます。用途に応じたグループを作成しデバイス情報を分類しておく、グループ単位でデバイスの管理や設定ができます。

メモ

- 一台のデバイスを複数のグループに登録することができます。
- メイン画面の「すべてのデバイス」には、ネットワーク上で検出されたシャープ製デバイスすべてが表示されます。

グループを新しく作る

- 1 「オプション(O)」メニューから「グループ設定(G)」-「新規(N)」の順に選択します。
「グループ設定」ダイアログが表示されます。



- すべてのデバイス : メイン画面の「すべてのデバイス」の内容が表示されます(「編集(M)」で表示したときは、このグループに属していないデバイスのみが表示されます(グループを編集する→16ページ))。
- グループに含めるデバイス : 現在このグループに属しているデバイスが表示されます。

- 2 「グループ名」を設定します。

任意の名前を入力できます(全角16字以内)。出荷時の設定は「GROUPxxx」(xxxは001から始まる連番)。

- 3 「すべてのデバイス」からグループに分類したいデバイスを選択し、「追加>>」ボタンをクリックします。

選択したデバイスが「グループに含めるデバイス」に移動します。

メモ

分類されたデバイスをグループから外すときは、「グループに含めるデバイス」から外したいデバイスを選んで「<<削除」ボタンをクリックします。

- 4 グループ作成が終わったら、「OK」ボタンをクリックします。

メイン画面に新しいグループのタブが追加され、分類されたデバイス情報が表示されます。



グループを編集する

作成済みのグループの内容を編集します。



- ・「すべてのデバイス」タブを選択しているときは、グループ名の変更はできません。
- ・「すべてのデバイス」にデバイスの追加・削除を行うときは、「デバイスを登録する」(7ページ)をご覧ください。

- 1 編集したいグループのタブをクリックし、「オプション(O)」メニューから「グループ設定(G)」-「編集(M)」の順に選択します。
「グループ設定」ダイアログが表示されます。
- 2 「グループを新しく作る」(15ページ)を参考に、グループ名の変更やデバイスの追加・削除を行います。
- 3 編集が終わったら、「OK」ボタンをクリックします。

グループを削除する

作成済みのグループを削除します(「すべてのデバイス」は削除できません)。

- 1 削除したいグループのタブをクリックし、「オプション(O)」メニューから「グループ設定(G)」-「削除(D)」の順に選択します。
「確認」ダイアログが表示されます。
- 2 「はい(Y)」ボタンをクリックします。
グループは削除されます。

デバイス情報一覧をカスタマイズする

メイン画面のデバイス情報一覧を、使いやすいように任意にカスタマイズすることができます。

表示項目を選択する

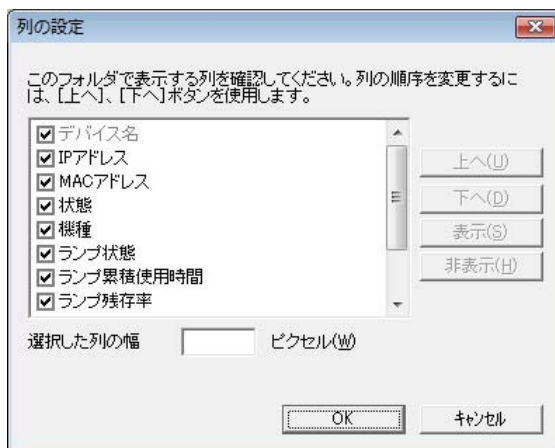
デバイス情報一覧に表示させる項目を、変更、あるいは並べ替えることができます。



「デバイス名」は必ず表示されます。

「列の設定」ダイアログで変更する・並べ替える

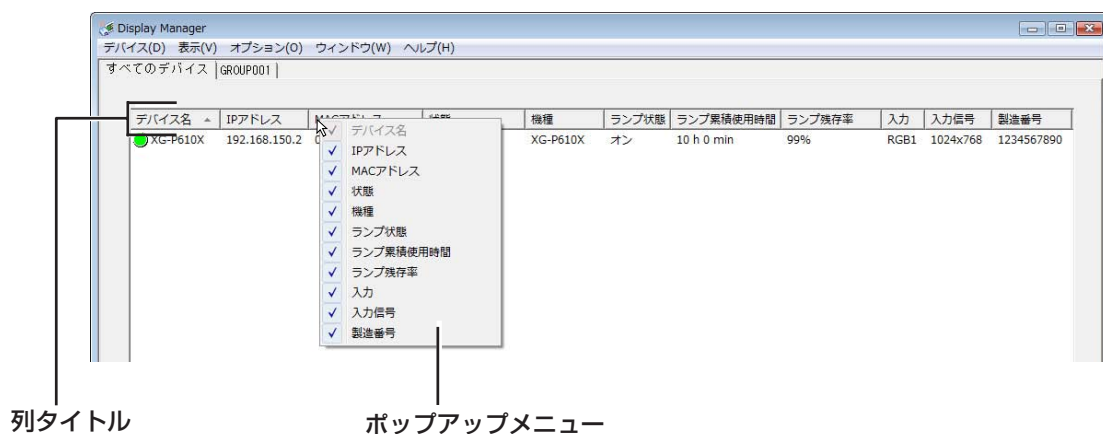
- 1 「表示(V)」メニューから「列の選択(N)」を選択します。
「列の設定」ダイアログが表示されます。



- 2 表示したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。または表示したい項目をクリックし、「表示(S)」ボタンをクリックします。
 - ・ 表示項目と内容については、「デバイスの状態を確認する」(8ページ)をご覧ください。
 - ・ 表示させたくない項目はチェックを外します。または、表示させたくない項目をクリックし、「非表示(H)」をクリックします。
- 3 表示項目の順番を変更するときは、項目を選択し「上へ(U)」ボタン、または「下へ(D)」ボタンをクリックします。
 - ・ 「上へ(U)」ボタンをクリックすると、順番は1つ上がります(デバイス情報行上では、左に1つ移動します)。
 - ・ 「下へ(D)」ボタンをクリックすると、順番は1つ下がります(デバイス情報行上では、右に1つ移動します)。
- 4 表示項目の列幅を変更するときは、「選択した列の幅」欄に数値を入力します。
- 5 変更が終わったら「OK」ボタンをクリックします。
変更した内容に合わせて、デバイス情報一覧の表示が変わります。

右クリックで変更する

- 1 列タイトルの上で右クリックします。
表示項目のポップアップメニューが表示されます。



- 2 表示したい項目にチェックを入れます。
 - ・ チェックを入れた項目が、デバイス情報一覧に表示されます(右端に追加表示されます)。
 - ・ チェックを外した項目は、デバイス情報一覧で表示されません。

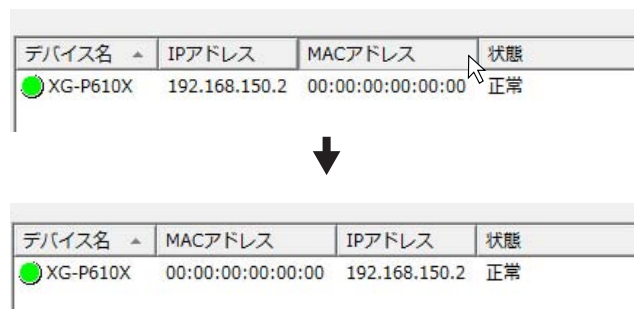
表示項目の順番を入れ替える

ドラッグ・ドロップで表示項目(列)の順番を入れ替えることができます。

- 1 任意の列タイトルを選択し、移動したい位置にドラッグで移動します。

例>「MACアドレス」を「IPアドレス」の左に移動する

「MACアドレス」を「IPアドレス」の左(「デバイス名」の位置)にドラッグします。



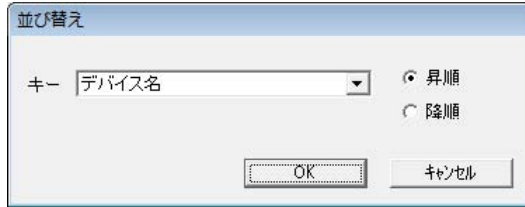
「MACアドレス」が「IPアドレス」の左に移動します。

デバイス情報をソートする

任意の表示項目をキーにして、デバイス情報一覧を昇順または降順にソートすることができます。

「並び替え」ダイアログでソートする

- 1 「表示(V)」メニューから「並べ替え(O)」を選択します。
「並び替え」ダイアログが表示されます。



- 2 プルダウンメニューから、ソートキーになる項目を選択します。
- 3 「昇順」「降順」いずれかのラジオボタンをクリックしてチェックを入れます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
指定したルール(昇順または降順)で、デバイス情報一覧がソートされます。

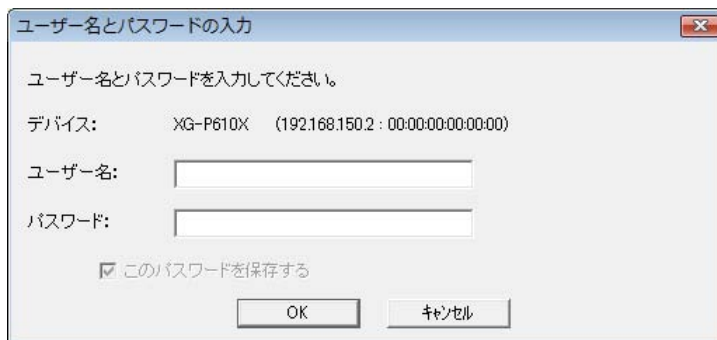
クリックでソートする

- 1 ソートキーになる項目(列タイトル)をクリックします。
 - ・ デバイス情報一覧が昇順にソートされます。
 - ・ 再度クリックすると、降順にソートされます。

ユーザー名・パスワードを登録する

デバイス側でユーザー名、パスワードが設定されている場合は、ネットワークを接続する際にユーザー名、パスワードを入力する必要があります。あらかじめユーザー名とパスワードを登録しておく、この操作を省略することができます。

- 1 メイン画面の「すべてのデバイス」タブをクリックし、設定したいデバイスを選択します。
- 2 「デバイス(D)」メニューから「パスワード(W)」を選択します。
「ユーザー名とパスワードの入力」ダイアログが表示されます。



- 3 ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
ユーザー名とパスワードが登録されました。

メモ

設定したいデバイス上で右クリックし、ポップアップメニューから「パスワード(W)」を選択しても、「ユーザー名とパスワードの入力」ダイアログを呼び出すことができます。

最新情報に更新する

現在表示されているデバイス情報一覧を、手動で最新の状態に更新します。

- 1 「表示(V)」メニューから「最新の情報に更新(R)」を選択します。
デバイス情報一覧が、最新の状態に更新されます。

メモ

デバイス情報一覧上で右クリックし、ポップアップメニューから「最新の情報に更新(R)」を選択しても、デバイス情報一覧を更新することができます。

LAN上のデバイスを検索する

LAN上のデバイスを手動で検索し、新規のデバイスが見つかった場合は、新規デバイスの情報を追加表示します。

- 1 「表示(V)」メニューから「デバイスの検索(S)」を選択します。
検索が始まり、新規のデバイスが見つかった場合は、新規デバイスの情報をデバイス情報一覧に追加表示します。

注意

- ・ ネットワークが混雑している場合、見つからないことがあるので、時間をあけて数回操作してください。
- ・ デバイスの検索やデバイス情報の更新を行うとセキュリティの警告画面が出る場合があります。この場合は、[25ページ](#)をご覧ください。

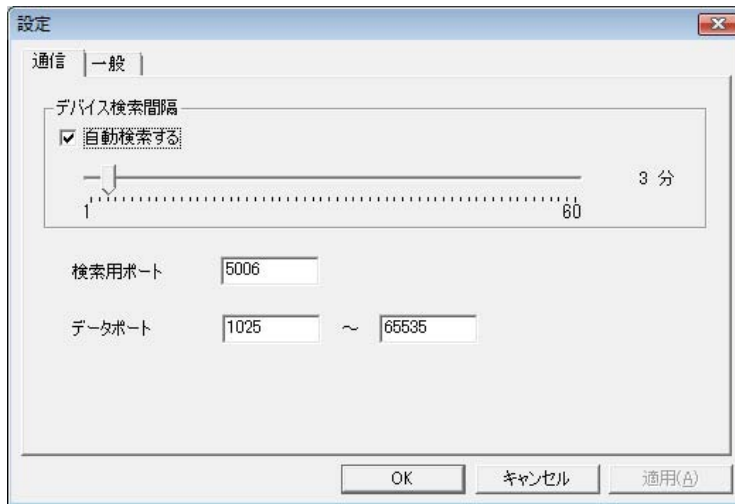
その他の便利な設定

デバイスの自動検索やデバイス情報一覧の自動更新などの設定について説明します。

自動検索を設定する

自動検索と検索間隔を設定しておくことで、設定されたタイミングで自動的にLAN上のデバイスを検索します。

- 1 「オプション(O)」メニューから「設定(P)」を選択します。
「設定」の「通信」ダイアログが表示されます。



- 2 「自動検索する」チェックボックスにチェックを入れ、スライダーを任意の位置にドラッグして検索間隔を設定します。
 - ・ チェックを外すと自動検索は行われません。
 - ・ 1～60分の範囲で設定できます(1分刻み)。

注意

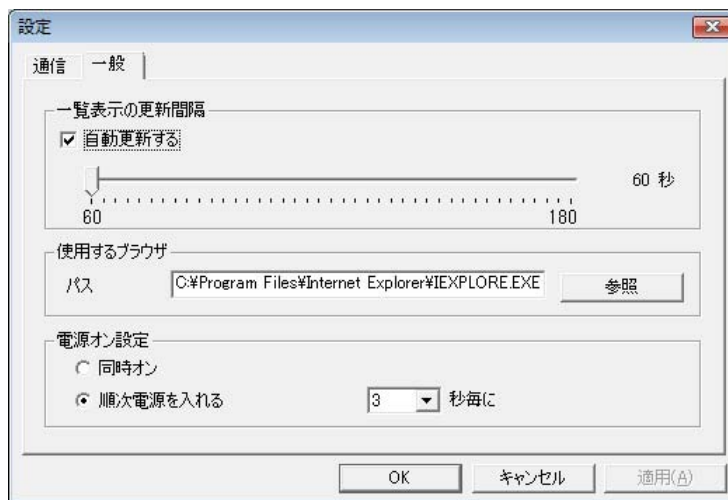
デバイスの検索やデバイス情報の更新を行うとセキュリティの警告画面が出る場合があります。この場合は、[25ページ](#)をご覧ください。

- 3 「**検索用ポート**」に**検索用のポート番号**を入力します。
 - ・ デバイス側で設定した検索用ポート番号と同じ値に設定してください。
 - ・ 出荷時の設定は5006です。
 - ・ 1025～65535の範囲で設定できます。
- 4 「**データポート**」に**データ通信用のポート番号の範囲**を入力します。
 - ・ パソコン側のデータポートを制限したい場合に設定してください。
 - ・ 出荷時の設定は1025～65535です。
 - ・ 1025～65535の範囲で設定できます。
- 5 「**適用(A)**」ボタンをクリックします。
- 6 設定を終了するときは「**OK**」ボタンをクリックします。

デバイス情報一覧の自動更新を設定する

デバイス情報一覧の自動更新と更新間隔を設定しておくことで、設定されたタイミングで、自動的にデバイスの情報を収集しデバイス情報一覧を更新します。

- 1 「**オプション(O)**」メニューから「**設定(P)**」を選択し、「**設定**」ダイアログで「**一般**」タブをクリックします。「**設定**」の「**一般**」ダイアログが表示されます。



- 2 「**自動更新する**」チェックボックスにチェックを入れ、**スライダー**を任意の位置にドラッグして**更新間隔**を設定します。
 - ・ チェックを外すと自動更新は行われません。
 - ・ 60～180秒の範囲で設定できます(1秒刻み)。
- 3 「**適用(A)**」ボタンをクリックします。
- 4 設定を終了するときは「**OK**」ボタンをクリックします。

メモ

デバイスに自動ログアウト(Auto Logout)機能があるときは、自動更新する時間より、自動ログアウト時間を短く設定することをお勧めします。ネットワークトラブル等で復帰した場合、早期に情報更新することが可能です。

デバイスを操作するためのブラウザを設定する

ブラウザを使ってネットワーク経由でデバイスを操作するとき使用するブラウザを指定します。

注意

ブラウザを利用して操作できるデバイスを選択した場合のみ、ブラウザを使用します。

- 1 「オプション(O)」メニューから「設定(P)」を選択し、「設定」ダイアログで「一般」タブをクリックします。
- 2 「使用するブラウザ」の「パス」欄にブラウザの場所を入力します。
出荷時の設定ではInternet Explorerの場所が入っています。
- 3 「適用(A)」ボタンをクリックします。
- 4 設定を終了するときは「OK」ボタンをクリックします。

電源オン設定をする

デバイスの電源を一括でオンにする場合、同時にオン信号を送信するか(同時オン)、一定の時間間隔で順次オン信号を送信するかを設定します。

- 1 「オプション(O)」メニューから「設定(P)」を選択し、「設定」ダイアログで「一般」タブをクリックします。
- 2 「電源オン設定」で「同時オン」または「順次電源を入れる」のラジオボタンにチェックを入れます。
- 3 「順次電源を入れる」にチェックを入れたときは、プルダウンメニューから時間間隔を選択します。
・ 1～10秒の範囲で設定できます(1秒刻み)。
- 4 「適用(A)」ボタンをクリックします。
- 5 設定を終了するときは「OK」ボタンをクリックします。

右クリックメニュー一覧

デバイス情報を右クリックしたときに表示されるポップアップメニューとその機能について説明します。



プロパティ(P)

選択したデバイスのプロパティ画面を表示します。

- 「電源」以外の表示内容については「デバイスの状態を確認する」(8ページ)をご覧ください。
- 「電源」: オン → 正常(電源入)
スタンバイ → スタンバイ時
- 「閉じる」ボタンをクリックするとプロパティ画面は閉じます。



コントローラ(C) (9ページ)

デバイス情報一覧から選択した1台のデバイス、もしくはグループ全体のデバイスをパソコン上のコントローラウィンドウから制御します。

追加(A) (7ページ)

手動でIPアドレスを入力して、デバイス情報を取得し情報一覧に追加します。

削除(D) (7ページ)

登録済みのデバイス情報を情報一覧から削除します。

パスワード(W) (18ページ)

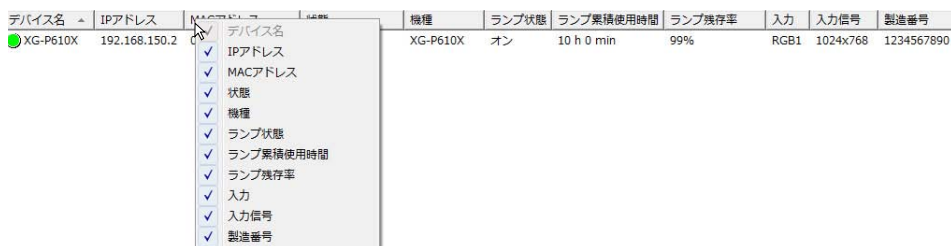
デバイス側でユーザー名、パスワードを設定している場合は、ネットワークを接続する際にユーザー名、パスワードを入力する必要があります。この操作を省略するために、あらかじめユーザー名とパスワードを登録する機能です。

最新の情報に更新(R) (19ページ)

現在表示されているデバイス情報一覧を、手動で最新の状態に更新します。

【注意】

列タイトルの上で右クリックしたときは、表示項目の追加・変更機能が働きます。詳しくは17ページをご覧ください。



メニュー一覧

メニューバーのメニューの機能について説明します。

「デバイス(D)」メニュー

デバイス(D)	
プロパティ(P)	
追加(A)	
削除(D)	Del
パスワード(W)	
終了(X)	

プロパティ(P) (22ページ)

選択したデバイスのプロパティ画面を表示します。

追加(A) (7ページ)

手動でIPアドレスを入力して、デバイス情報を取得し情報一覧に追加します。

削除(D) (7ページ)

登録済みのデバイス情報を情報一覧から削除します。

パスワード(W) (18ページ)

デバイス側でユーザー名、パスワードを設定している場合は、ネットワークを接続する際にユーザー名、パスワードを入力する必要があります。この操作を省略するために、あらかじめユーザー名とパスワードを登録する機能です。

終了(X) (6ページ)

本ソフトウェアを終了します。

「表示(V)」メニュー

表示(V)	
列の選択(N)	
並べ替え(O)	
最新の情報に更新(R)	F5
デバイスの検索(S)	F6

列の選択(N) (16ページ)

デバイス情報一覧に表示させる項目を、変更、あるいは並べ替えます。

並べ替え(O) (18ページ)

任意の表示項目をキーにして、デバイス情報一覧を昇順または降順にソートします。

最新の情報に更新(R) (19ページ)

現在表示されているデバイス情報一覧を、手動で最新の状態に更新します。

デバイスの検索(S) (19ページ)

LAN上のデバイスを手動で検索し、新規のデバイスが見つかった場合は新規デバイスの情報を追加表示します。

「オプション(O)」メニュー

オプション(O)	
グループ設定(G)	▶
メール設定(M)	
アラート設定(A)	
設定(P)	

グループ設定(G) (15ページ)

デバイス情報をグループ化します。

- ・ 新規(N) : 新しくグループを作成します。
- ・ 編集(M) : 作成済みのグループを編集します。
- ・ 削除(D) : 作成済みのグループを削除します。

メール設定(M) (12ページ)

エラー発生時、あるいはデバイスの状態を定期的に通知するなど、指定のアドレスに自動的に送られるメッセージメールを設定します。

アラート設定(A) (14ページ)

指定したエラーが発生した場合に、画面にアラートダイアログを表示し、エラーログを保存します。

設定(P) (19ページ)

自動検索設定、デバイス情報一覧の自動更新設定、デバイス制御用ブラウザ設定、電源オン設定を行います。

「ウィンドウ(W)」メニュー

ウィンドウ(W)	
コントローラ(C)	

コントローラ(C) (9ページ)

デバイス情報一覧から選択した1台のデバイス、もしくはグループ全体のデバイスをパソコン上のコントローラウィンドウから制御します。

「ヘルプ(H)」メニュー

ヘルプ(H)	
バージョン情報(A)	

バージョン情報(A)

ご使用の本ソフトウェアのバージョンが表示されます。

こんなときは

以下のような症状が現れたときは、表に従って対応してください。症状が変わらないときは販売店にお問い合わせください。

症 状	原因と解決法
デバイスが見つからない、または通信できない。	<ul style="list-style-type: none">• デバイスのLAN端子にケーブル側コネクタがしっかりと挿入されていますか。• コンピュータやネットワーク機器(ハブ等)のLANポートにケーブルがしっかりと挿入されていますか。• LANケーブルには、カテゴリ5のものを使っていますか。• デバイスとコンピュータを直接接続した場合： LANケーブルには、クロスタイプのものを使っていますか。• デバイスをネットワーク機器(ハブ等)と接続した場合： LANケーブルには、ストレートタイプのものを使っていますか。• デバイスとコンピュータ間のネットワーク機器(ハブ等)の電源が入っていますか。• デバイスの以下のネットワーク設定をご確認ください。 <p>IPアドレス デバイスのIPアドレスがネットワーク上で重複していませんか。</p> <p>サブネットマスク デバイスのゲートウェイ設定が“0.0.0.0”(Not Used)の場合、または、デバイスのゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合： - サブネットマスクが、デバイスとコンピュータで同一になっていることをご確認ください。 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、デバイスとコンピュータで同一になっていることをご確認ください。</p> <p>(例) デバイスのIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。</p> <p>ゲートウェイ デバイスのゲートウェイ設定が“0.0.0.0”の場合、または、デバイスのゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合： - サブネットマスクが、デバイスとコンピュータで同一になっていることをご確認ください。 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、デバイスとコンピュータで同一になっていることをご確認ください。</p> <p>(例) デバイスのIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 「PING」コマンドにより、「TCP/IP」プロトコルが正常に動作し、デバイスと通信できていることをご確認ください。 <ol style="list-style-type: none">1. コマンドプロンプトを開きます。 - 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。2. コマンドプロンプト起動後、「PING」コマンドを入力します。 入力例 C:¥>Ping XXX.XXX.XXX.XXX 「XXX.XXX.XXX.XXX」には、接続先(デバイス等)のIPアドレスを入力します。

症 状	原因と解決法
<p>デバイスが見つからない、または通信できない。</p>	<p>3. 正しく接続されている場合は、以下のように表示されます。 (OSによって、画面が多少異なることがあります) <例> 接続先のIPアドレスが「192.168.150.2」のとき</p>  <p>4. コマンド送信ができないときは「要求がタイムアウトしました」と表示されます。 ネットワーク設定を再確認してください。 それでもうまく通信できない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。</p> <p>5. Windowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「PING」コマンドの確認を行っても、デバイスに接続できない場合： <ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスに「許可するIPアドレス」の設定がある場合は、接続するコンピュータのIPアドレスを設定してください。 2. コンピュータにセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、またはネットワークシステムにファイアウォールが構築されている場合は、接続できないことがあります。 検索用ポートに設定したUDP/TCPポート、データポートに設定したTCPポートを使用できるようにシステム管理者と相談してください。 3. 上記2項でない場合は、検索用ポートまたはデータポートの設定を変更してください（19ページ）。なお、本ソフトウェアの検索用ポート設定を変更した場合、デバイスの検索用ポート設定も同様に変更する必要があります。
<p>セキュリティの警告画面が出る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスの検索を行うと、セキュリティの警告画面が出る場合があります。 本ソフトウェアが検索用ポート(UDP)で通信するためには、「ブロックを解除する(U)」をクリックし、再度デバイスの検索を行ってください。

エラーメッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、対処法に従って対処してください。症状が変わらないときは販売店またはシャープ修理相談センター*にお問い合わせください。

メッセージ	原因と解決法
プロジェクターの内部温度が高くなっています。	[原因] 通気孔がふさがれている。／エアフィルターが目づまりを起こしている。 冷却ファンが壊れている。／内部の回路が故障している。
プロジェクターの内部温度が異常に高くなっています。	[解決するには] a. 換気のよい場所に移動させる。 b. エアフィルターを交換する。 c. 最寄りのシャープ販売店または修理相談センター*に修理を依頼する。
冷却ファンが作動していません。	[原因] 冷却ファンが壊れている。 [解決するには] 最寄りのシャープ販売店または修理相談センター*に修理を依頼する。
フィルターカバーが開いています。	[原因] フィルターカバーまたはエアフィルター、レンズカバーが正しく取り付けられていない。 [解決するには] フィルターカバーとエアフィルター、レンズカバーを正しく取り付ける。
ランプの交換時期です。	[解決するには] a. ランプを交換し、ランプタイマーをリセットする。(ランプの交換には十分ご注意ください。) b. 最寄りのシャープ販売店または修理相談センター*に修理を依頼する。
ランプが切れています。	[解決するには] a. ランプを交換し、ランプタイマーをリセットする。(ランプの交換には十分ご注意ください。) b. 最寄りのシャープ販売店または修理相談センター*に修理を依頼する。
ランプが点灯しません。	[原因] ランプ/バックライトが切れている。／ランプ/バックライトの回路が故障している。 [解決するには] a. ランプを交換し、ランプタイマーをリセットする。(ランプの交換には十分ご注意ください。) b. 最寄りのシャープ販売店または修理相談センター*に修理を依頼する。
デバイスからの応答がありません。	[原因] デバイスから応答がない。 [解決するには] a. デバイスの電源を確認する。 b. LANケーブルが接続されているかを確認する(リンクLEDが点灯)。 c. 途中の通信機器が正常動作しているかを確認する。
デバイスに接続できません。	[原因・1] ユーザー名とパスワードが異なる。 [解決するには・1] ユーザー名とパスワードをデバイスと同じ設定にする(18ページ)。 [原因・2] 検索性ポートまたはデータポートが使用できない。 [解決するには・2] a. デバイスに「許可するIPアドレス」の設定がある場合は、接続するコンピュータのIPアドレスを設定する。 b. コンピュータにセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、またはネットワークシステムにファイアウォールが構築されている場合は、検索性ポートに設定したUDP/TCPポート、データポートに設定したTCPポートを使用できるようにセキュリティ管理者と相談する。 c. 上記2項でない場合は、検索性ポートまたはデータポートの設定を変更する(19ページ)。なお、本ソフトウェアの検索性ポート設定を変更した場合、デバイスの検索性ポート設定も同様に変更する必要がある。 [原因・3] 他のコンピュータなどから接続されている。 [解決するには・3] データポートに接続しているコンピュータをチェックする。

*シャープ修理相談センターは、お使いのデバイスに同梱の取扱説明書でご確認ください。

対応デバイス

- XG-MB70X
- XG-PH50X
- XG-PH50X-N
- XG-PH70X
- XG-PH70X-N
- XG-P610X
- XG-P610X-N

索引

アルファベット

AVミュート	11
IPアドレス	8
MACアドレス	8

あ行

アラート設定	14
アンインストール	5
インストール	4
エラーメッセージ	26

か行

機種	8
起動	6
グループ	15
コントローラウィンドウ	9

さ行

自動検索	19
自動更新	20
シャッター	11
終了	6
消音	11
状態	8
状態アイコン	8
スタンバイ状態	11
製造番号	8

た行

タブ	6
グループ	15
すべてのデバイス	7
デバイス検索	19
デバイス検索間隔	19
デバイス情報	8
デバイス情報一覧	8、16
デバイス制御	9
デバイス追加	7
デバイス名	8
電源オン設定	21

な行

入力	11
入力信号	8

は行

バージョン情報	23
パスワード	18
ブラウザ	12、21
ブラックスクリーン	11
プロパティ	22
ヘルプ機能	23

ま行

右クリックメニュー	22
メイン画面	6
メール設定	12
エラー通知	13
通知先	13
定期通知	14
発信元	12
メニュー	23
ウィンドウ	9
オプション	12~16、19~21
デバイス	7、18
表示	16、18、19
ヘルプ	23

や行

ユーザー名	18
-------	----

ら行

ランプ残存率	8
ランプ状態	8
ランプ累積使用时间	8

各デバイスの入力一覧

コントローラウィンドウの入力ボタンは、下表の通り、各デバイスの入力切替ボタンとして動作します。

デバイス	ボタン					
	RGB1	RGB2	RGB3	RGB4	RGB5	RGB6
XG-MB70X	INPUT 1 (RGB1)	INPUT 2 (RGB2)	-	-	-	-
XG-PH50X	INPUT 1 (RGB1)	INPUT 2 (RGB2)	INPUT 3 (DVI)	-	-	-
XG-PH70X	INPUT 1 (RGB1)	INPUT 2 (RGB2)	INPUT 3 (DVI)	-	-	-
XG-P610X	COMPUTER1	COMPUTER2	DVI	HDMI	-	-

デバイス	ボタン					
	ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3	ビデオ4	ビデオ5	ビデオ6
XG-MB70X	INPUT 3 (Video)	INPUT 4 (S-Video)	-	-	-	-
XG-PH50X	INPUT 4 (Video)	INPUT 5 (S-Video)	-	-	-	-
XG-PH70X	INPUT 4 (Video)	INPUT 5 (S-Video)	-	-	-	-
XG-P610X	VIDEO	S-VIDEO	-	-	-	-

【ご注意】

- ・ コントローラウィンドウ上の入力ボタンは、各デバイスの入力を切り換えるためのRS-232Cコマンド「IRGB****」「IVED****」に連動しています。
RGB1～RGB6のボタン：コマンド「IRGB__1」～「IRGB__6」
ビデオ1～ビデオ6のボタン：コマンド「IVED__1」～「IVED__6」
- ・ 各デバイス毎の入力切替コマンドについて詳しくは、各デバイスに付属の取扱説明書またはセットアップマニュアルを、ご参照ください。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。



シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】



携帯PHS OK

0120 - 078 - 178

携帯電話・PHSからご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電 話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～18:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 (年末年始を除く)

シャープ株式会社

本 社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区长池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地